

官報

立案 大正九年十月三日
決裁 大正 年 月 日

爵位課長



宗秩院總裁 印

宮内事務官



海軍中佐 望月 仁化 少 十一名 敘位
八件

十月十

文

二十二

大正九年十月五日 官報 官報 官報
臺帳記入十月十日 官報 官報 官報

宮内省

(公大)

海軍中佐野村仁作外十一名
叙位ノ件

大正九年十月十九日
海軍省
大正九年十月十九日



海軍中佐野村仁作外十一名
叙位ノ件

右謹テ奏ス

大正九年十月二十九日

内閣總理大臣原敬

裏面白紙

海軍第六二號

案起

九年十月五日

裁可
決定

九年十月廿五日

施行

年月日

内閣總理大臣

内閣書記官長

内閣書記官

海軍中佐野村仁作外十一名敏位
件

内閣

193

内務省告示第六号

官制第四十六號

大正九年十月五日

樺太廳長官、永井金次郎

内閣總理大臣原 敬 啟

叙位之義、内申

正六位

大正七年七月二十日
從六位

大正七年六月六日
任樺太廳警務部長
五等官

城間恒人

右叙位進階、内則第二條ニ依リ頭書
及通叙位、御詮議相成度此段
及内申候

樺太廳

9. 10. 12
拓殖局

内 延位 六五

正七位 大正元年九月 叙從七位 五年以上 關東廳高等女學校教諭從在津村善之丞

右多年奉職勤勞不尠者有叙位進階内則
第二條依り頭書ノ通位一級被進度謹テ奏ス

大正九年十月十三日

關東長官山縣伊三郎



關 東 廳

内閣府 官制第四〇七号

官制第四〇七号

大正九年十月六日

樺太廳長官永井金次郎

内閣總理大臣原 敬 殿

叙位之義内申

正七位

大正七年六月三十日

任樺太廳觀測所技師

七等官

勲六等

從七位

大正七年七月一日

任叙高等官六等

野田為太郎

右叙位進

階内則第二條ニ依リ頭書

通叙位

御詮議相成度此段及

内申候

樺 太 廳

9. 10. 12
拓建局

内閣海軍一五七号

從七位 大正九年十月十一日 田崎正浩
右文武官叙位進階内則第二條ニ依リ
頭書、通叙位セテ度
謹ニテ奏ス

大正九年十月十五日

海軍大臣男爵加藤友三郎



海軍

海軍大臣 三三四

大正九年十月十九日

海軍大臣 加藤友三郎

内閣總理大臣 原敬 敬殿

野村海軍中佐以下八名叙位ノ件
別紙上奏書進達ス

海軍

十月十日
調査済

乙
八五
一三

一開東應高尋女學校教諭津村善之丞叙位上奏書

右及進達候也

大正九年十月十三日

關東長官山縣伊三郎

内閣總理大臣原 敬殿

9. 10. 18
拓綴簿
拓殖局

裏面白紙

關
東
廳

海軍入第三三〇

大正九年十月十五日

海軍大臣男爵加藤友三郎

内閣總理大臣原敬殿

田崎海軍技師叙位、件別紙
上奏書進達ス

海軍